

BB31 011

授業科目	政治学 (Political Science)		
担当教員	辻 中 豊	研究室	共同研究棟A306
単位数	2単位	オフィスアワー	月、金 夕方5-7時
学期曜時限	1・2学期 月3時限	授業対象学生	1・2年次
授業の目標と概要・学生への要望 政治学の入門的講義。政治的なものの概念、政治の分析方法などを紹介し、政治学の進んだ学習のための手掛かりを与える。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 政治学と政治への関心を喚起し、基本的な理解と研究方法への入門を行う講義。 【使用テキスト】 伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め 第三版』有斐閣、2009年 毎週、その講義に見合った新聞などからの切抜きを義務付ける。 【内容】 (1)政治とは？(2)投票？(3)テレビ政治(4)政治家とは(5)政党と利権・思想(6)官僚(7)コネとネットワーク(8)政策の作られ方(9)最高権力者(10)地方の自立(11)世界政治の行方(12)内政干渉(13)21世紀政治の試練(14)日本政治への疑問(15)国際社会の中の日本政治(16)政治分析の作法(17)日本政治のモデル(18)日本政治のアウトライン(19)公共政策(20)日本の選挙と政党(21)日本の制度と過程			
単位取得要件	切り抜き提出、試験、レポート、質問票の提出		
備考	CDP(学問と社会)		

BB31 021

授業科目	政治思想 (Political Thought)		
担当教員	近 藤 康 史 (Yasushi KONDO)	研究室	人社B412
単位数	2単位	オフィスアワー	火曜14:00～16:00(3学期のみ14:30～)
学期曜時限	1・2学期 火2時限	授業対象学生	1・2年次
授業の目標と概要・学生への要望 現代の政治的・社会的変容を念頭に置き、身近に起こっている政治現象などを取り上げながら、政治思想・政治理論の現代的諸論点について考えていきたい。その過程で、各人が、「自由」「平等」「公共性」「民主主義」といった政治的概念について自分なりに考え、またそれを生かして、現代政治に対する自分なりの視角を獲得することを目標とする。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 【講義予定】 具体的な講義内容は以下の通り。進行状況によって、若干の変更がありうる。 1. 現代政治の変容: 福祉国家の揺らぎ、国民国家の揺らぎ、脱伝統社会 (第1週～第7週) 2. 政治思想の現代的展開: リバタリアン/コミュニタリアン、ラディカル・デモクラシー、差異と自律の政治、国家と市民社会 (第8週～第15週) 3. 政治的概念の変容: 自由、平等、公共性、「政治的なもの」(第16週～第20週) 【授業外の予習復習方法・教材等】 教科書は特に指定しない。参考文献は講義中に提示する。前回の内容を復習した上で講義に臨むこと。			
単位取得要件	1学期レポート(4割) + 2学期末試験(6割)		
備考	http://member.social.tsukuba.ac.jp/kondo/		

BB31 031

授業科目	政治外交史 (Political and Diplomatic History)		
担当教員	松岡 完	研究室	人社棟A403
単位数	2単位	オフィスアワー	11:30-12:00
学期曜時限	1・2学期 金3時限	授業対象学生	1・2年次
授業の目標と概要・学生への要望 (1)現代の国際政治で生じているさまざまな事件の歴史的背景を知る。(2)現代世界の序曲となった冷戦期を中心に、国際政治の歩みを把握する。(3)国際政治全般に対して興味を深める。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 【1学期】 1.序論 2.第一次世界大戦 3.第二次世界大戦 4.冷戦の開始 5.冷戦の激化と欧州の分断 6.中国革命 7.朝鮮戦争 8.インドシナ戦争と日本 9.平和共存路線の模索 10.西欧の防衛と統合 【2学期】 11.中東の戦火 12.動揺する社会主義陣営 13.東西対立の再燃 14.KK時代と多極化世界 15.革命とミサイル 16.ヴェトナム戦争 17.デタント外交 18.激化する地域紛争 19.冷戦の終焉 20.冷戦後の世界 教科書は松岡完『20世紀の国際政治』改訂増補版(同文館 2003)			
単位取得要件	学期末レポートなど。		
備考	社会・国際学群 コア・カリキュラム 国際(BC11 651)と共通		

BB31 121

授業科目	政策過程論 (Policy Process)		
担当教員	近藤 康史 (Yasushi KONDO)	研究室	人社B412
単位数	2単位	オフィスアワー	火曜14:00～16:00(3学期のみ14:30～)
学期曜時限	3学期 火2・3時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 政策過程の諸理論と具体的なケースについて考え、日本の政策過程の性格について理解することを目指す。また、福祉政策や環境政策といった、現代において論点となっている政策を取り上げ、政策・政策過程の変容やその必要性について考えたい。それらを通じて、各人が、身近な素材を利用して、自分なりに政策や政策過程を分析したり、日本政治について考えたりできるようになることも目標とする。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 【講義予定】 具体的な講義内容は以下の通り。進行状況によって、若干の変更がありうる。 1. イントロダクション(第1週) 2. 政治と政策過程: 意思決定のモデル 政策過程の諸理論 政策過程の諸段階(第2・3週) 3. 誰が政策を決めているのか - 日本における政策過程: 官僚 政治家 鉄の三角形 官邸主導 政権交代後の変化(第3週～第7週) 4. 政策・政策過程の変容: 福祉政策 環境政策(第8～10週)			
【授業外の予習復習方法・教材等】 講義ではパワーポイントを用い、スライドのレジュメを教材として毎回配布する。また参考文献についても講義中に適宜紹介する。予習復習には、これらの教材・参考文献を利用すること。			
単位取得要件	学期末試験		
備考	http://member.social.tsukuba.ac.jp/kondo/		

BB31 131

授業科目	比較政治学 (Comparative Politics I)		
担当教員	鈴木 創	研究室	人社棟B615
単位数	2単位	オフィスアワー	予約により随時
学期曜時限	1・2学期 金2時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 比較政治学の主要な理論や概念を紹介し、各国の政治がどのように位置づけられるかを考察する。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 以下の流れで講義を進める予定。ただし、進み具合などによって変更する可能性もある。 1. 比較政治学とは 2. 政治体制と政治制度 3. 政治文化 4. 民主化 5. 政党と政党システム 6. コーポラティズム 7. 福祉国家 レジュメを配布するので、事前に目を通して授業に臨むこと。 教科書は特に指定しないが、講義の一部は次のテキストに沿って行う。 真柄秀子・井戸正伸『改訂版比較政治学』(2004年、放送大学教育振興会) 参考文献は授業の中で随時紹介する。			
単位取得要件	学期末試験		
備考			

BB31 161

授業科目	現代国際政治理論 (Theories of Global Politics)		
担当教員	南山 淳	研究室	人社棟B409
単位数	2単位	オフィスアワー	随時(メールで要予約)
学期曜時限	3学期 月4・5時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 「グローバル化」と「ポストモダン化」というふたつの概念を中心に冷戦後 / 9.11後の国際政治分析に不可欠な理論枠組みについて検討する。伝統的な国際政治理論の批判的検討および、冷戦後、急速に台頭する批判主義的国際政治理論の概説を通じて、現代国際政治分析に必要な理論的知見について論じる。前年度「国際政治学」の修得者を対象とするが、同科目の未修得者は、山田・大矢根 編著『グローバル社会の国際関係論』(有斐閣)および吉川・野口 編著『国際関係理論』(勁草書房)を熟読し、国際政治理論の概説的知識を整理した上で受講すること。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 近代主権国家の出現にともなって成立したウエストファリア・システムは、常に構造的アナーキーに象徴される国際政治の基本構造の前提となってきた。肯定的な意味であれ、否定的な意味であれ、それが国際政治の認識枠組みの構築に多大な影響を及ぼしてきたことは改めて指摘するまでもない。他方、近年、著しく進展しているグローバル化は、そのような伝統的国際政治認識に根本的な修正を迫る「国際政治のポストモダン化状況」の様相を呈している。本講義では、あらゆる領域でグローバル化しつつある現代国際政治の現実を捉えるための新たな理論枠組みについて、特にメタ理論構造の重要性と批判主義的な国際政治理論の観点から論じる。			
【講義予定】 冷戦構造の崩壊とIRの危機 グローバル化 / ポストモダン化と権力 / 知の政治学 グローバル経済の成立と批判理論 モダニティ批判とポスト構造主義 グローバル / ジェンダー・ポリティクス の展開とフェミニズムIR グローバル・ネットワーク権力の出現とポスト・モダニティ(1) - 帝国 システム - グローバル・ネットワーク権力の出現とポスト・モダニティ(2) - グローバル都市 - 国際政治主体の両義性とアイデンティティ・ポリティクス 【テキスト】南山『国際安全保障の系譜学』(国際書院); 佐藤 & 前田 編著『世界政治を思想する』(国際書院); A. ネグリ & M. ハート『帝国』(以文社); S. サッセン『グローバル・シティ』(筑摩書房); S. Burchill, et. al., <i>Theories of International Relations</i> , 4th., ed., Palgrave Macmillan, 2009.			
単位取得要件	学期末試験(自筆ノートおよび配布レ・ジユメのみ持ち込み可)、またはレポート。		
備考	E-mail: minami@social.tsukuba.ac.jp		

BB31 181

授業科目	国際紛争論 (Global Security and International Conflicts I)		
担当教員	南山 淳	研究室	人社棟B409
単位数	2単位	オフィスアワー	随時(メールで要予約)
学期曜時限	1・2学期 月4時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 現代紛争および国際安全保障の構造的特質について、安全保障概念の「本質的論争性」の観点から考察する。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 冷戦後/9.11後の世界において拡大するグローバル化の影響は、世界経済のみならず国際安全保障や地域紛争の領域にも深く浸透している。そのような状況下、人間の安全保障や気候安全保障等に見られる「安全保障の再定義」の問題が緊急の課題として浮上している。本講義では、これまでの安全保障研究ならびに国際紛争研究の蓄積をふまえ、ポスト・ウエストファリア体制下における新しい安全保障の理論的展望について検討する。そのために、安全保障および国際紛争研究に関する基礎概念と方法論に加えて、安全保障を狭義の国家間関係および軍事領域に限定することなく、政治・経済・社会・文化領域においてグローバルに展開する複合現象として論じていく。本講義の受講者は、国際政治学・国際関係論に関する最低限の基礎知識を有していることを前提にしているので、関連講義の未修得者や不安のある者は、事前に、山田高敬・大矢根聡 編著『グローバル社会の国際関係論』(有斐閣)等を熟読したうえで受講すること。 【講義予定】 安全保障 / 恐怖の政治学 - 安全保障研究の視座 - 9.11後の世界と安全保障のグローバル化事例研究 国際安全保障の基本構造 冷戦と安全保障 - 戦略研究と伝統的安全保障 - 冷戦と安全保障 - 平和研究と国際安全保障 - 冷戦後の安全保障とグローバル化 - 伝統的安全保障の「再定義」 - 冷戦後の安全保障とグローバル化 - 安全保障の拡大/深化と批判主義的安全保障研究 - 【テキスト】 J.S. ナイ, Jr. 『国際紛争(原著第7版)』(有斐閣); M. カルドー 『新戦争論』(岩波書店); E. A. Kolodziej, <i>Security and International Relations</i> , Cambridge U.P., 2005; B. Buzan & L. Hansen, <i>The Evolution of International Security</i>			
単位取得要件	学期末試験(自筆ノートおよび配布レ・ジュメのみ持ち込み可)。		
備考	国際(BC11 691)と共通 E-mail: minami@social.tsukuba.ac.jp		

BB31 221

授業科目	都市政治学 (Urban Politics)		
担当教員	伊藤 修一郎	研究室	人社B407
単位数	2単位	オフィスアワー	月5
学期曜時限	1学期 木3・4時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 地方自治体によるまちづくり、景観政策、資源管理、ひいては地球環境問題まで、豊富な事例を検討することにより、現代社会における諸課題に共通する構造を特定し、解決策を探る。参加者は、事前に資料を読み、準備した上で授業に参加・貢献することが求められる。学生同士の討論などには、積極的に参加して欲しい。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 第1・2回 政策課題の共通構造・ゲーム論、 第3・4回 三つの解決方法の検討: 景観 第5・6回 政府の失敗と当事者による解決: バブル期のマンション開発 第7・8回 自発的協力の条件: ケアセンター成瀬 第9・10回 ソーシャル・キャピタル(SC) 第11・12回 ネットワークと政治参加: 市民運動 第13・14回 SCとコミュニティ・ビジネス 第15・16回 持ち帰りテスト 第17・18回 伝統的なコミュニティ(=自治会)はSCたりうるか? 第19・20回 インターネット・コミュニティ、ガバナンス論など 教材・課題は授業中に配布するほか、以下のホームページでも提示する: http://member.social.tsukuba.ac.jp/ito/index.html より詳細な授業計画も出ているので、受講を決める参考にされたい。なお、授業の進行、扱うトピックについては、進捗状況を見て随時変更する。今年度は特に公共政策論・政策過程論的なトピックも取り上げたい。			
単位取得要件	期末試験又はレポートと授業への参加度合いによる。		
備考	特別な知識は不要。		

BB31 251

授業科目	行政学 (Public Administration II)		
担当教員	伊藤 修一郎	研究室	人社B407
単位数	2単位	オフィスアワー	月5
学期曜時限	2学期 火・木3時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 行政組織の特質を吟味し、その管理・運営について議論する。伝統的な行政学的接近だけでなく、新公共管理、組織論、意思決定理論などの観点からも検討する。理論に関する講義が中心となるが、組織での勤務経験がない者がほとんどであるから、現実の行政組織の様子を織り交ぜて話を進める。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 1・2行政学の融合論と分離論、官僚制 3・4アメリカ行政学の組織論、組織の設計 5・6組織構造と組織デザイン 7・8公務員制度と人事行政 9・10管理・運営 11・12戦略と組織 13・14組織文化と学習 15・16新制度論・NPM 17・18ボランティア組織・ネットワーク 19・20ガバナンス論、まとめ 教材・課題は授業中に配布するほか、以下のホームページでも提示する： http://member.social.tsukuba.ac.jp/ito/index.html			
単位取得要件	試験及び授業参加		
備考	国際と共通、行政学 の履修がなくても受講可能(順序どおりに履修する必要はない)。		

BB31 261

授業科目	カナダ政治 (Canadian Politics)		
担当教員	岩崎 美紀子	研究室	3K322
単位数	2単位	オフィスアワー	e-mailで事前予約
学期曜時限	2学期 月1・2時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 多数派と少数派、中央と地方、民族、言語、地域格差など、現代世界の問題が集約されている国カナダを、イギリス系/フランス系、センター/ペリフェリー、連邦政府/州政府、カナダ/米国、の4つの軸から分析する。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 カナダは先進国のなかで唯一財政黒字国であり続けているが、1990年代初頭は財政破綻に近い状態であった。どのように財政を再建したか、行政改革はどのように行われたか、政府と市民の関係はどのように変化したかを学ぶ。またカナダ連邦制の特徴を遠心力と求心力のバランスの模索ととらえ、何が遠心力となり、何が求心力となっているかを、歴史、社会、経済、文化などの観点から分析する。教科書『行政改革と財政再建』(御茶の水書房)、『分権と連邦制』(ぎょうせい)。			
単位取得要件	出席。試験。レポート。		
備考	国際(BC11 011)と共通		

授業科目	日本政治論 (Japanese Politics)		
担当教員	竹中佳彦	研究室	人社B410
単位数	2単位	オフィスアワー	原則として学期中の木曜3時限
学期曜時限	1・2 学期 木2時限	授業対象学生	2～4年次
<p>授業の目標と概要・学生への要望</p> <p>【授業目標】現代日本の政治を理解するための理論・歴史・分析視角の修得。 【授業概要】日本の政治を理論、制度、実態、あるいは歴史の各面から概説し、理解を深めます。とくに日本の選挙制度、投票行動、イデオロギー、政党、立法過程などを中心に上げます。 【学生への要望】予習・復習を行い、平素より新聞等を講読することが望まれます。</p>			
<p>授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等</p> <p>【授業予定】受講生の理解度等によって進捗と内容が変わりうることをあらかじめご了承下さい。 第1回 開講の辞(ガイダンス) 第2回 戦後政治の概観 第3回 日本政治の仕組み 第4回～第7回 日本の選挙制度 第8回～第10回 投票行動とイデオロギー 第11回～第13回 日本の政党:自民党を中心として 第14回～第17回 議会と立法過程 第18回～第19回 マスメディアと政治 第20回 日本政治の見方 【使用教科書・参考文献】教科書はとくに指定しません。当日の授業出席者のみにレジュメを配付する予定です。 予習・復習のための参考文献として、 村松岐夫他『日本の政治 第2版』有斐閣、2001年、 蒲島郁夫他『現代日本人のイデオロギー』東京大学出版会、1996年、 蒲島郁夫他『メディアと政治』有斐閣、2007年。 その他の参考文献は適宜、指示します。</p>			
単位取得要件	原則として試験により評価します(試験に合格しなければ、どのような事情があれ、単位は与えません)。甚だしく出席が少ない場合には出席をとり、評価に加味することがあります。また私語や遅刻、途中退室など、授業態度が悪い等の場合には、単位を与えないことを含め、評価に反映させることがあります。		
備考			

授業科目	情報戦略と政治 (Intelligence Strategy and Policy)		
担当教員	古田博司	研究室	3K422
単位数	2単位	オフィスアワー	furuta@social.tsukuba.ac.jpに適宜連絡のこと
学期曜時限	2・3学期 金5時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 東アジア地域は、日本経済にとって主たるマーケットであると共に、日本との関係において、歴史教科書問題や領土問題、日本人の精神生活にかかわる諸問題が、たえず反日の標的として惹起されるため、複雑かつ混迷な状況が続いている。本講義では、このような情勢における、日本の国家戦略としての情報文化のあり方をさぐる。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 授業の進行予定 本講義は、理論より現状分析を重視し、適宜ビデオ映像や現在筆者の参画している歴史教科書問題、核・ミサイル問題、拉致問題などの話題を中心に展開される。 1. 教化の種類 思想教化 (Indoctrination)、洗脳 (Brain Washing)、宣伝煽動 (Propaganda)、マインドコントロール (Mind Control) 2. 社会心理学の応用 Psychic drive/Heuristic/Modeling/Band-wagon/Granfalloon/Factoid/Decoy/Phantom alternative/Wording/That's not all /Foot in the door/Door in the face/Mindlessness/ etc. (サイキック・ドライブ、見かけ見せかけ、モデリング、グランファルーン、事実もどき、おとり、幻の罠、ワーディング、それだけじゃないぞ、ドアの足ばさみ、ドアから顔ヌーッ、気そらし等のテクニックについて概説) 3. 東アジア反日トライアングル・国内アジア主義者との思想戦 日本文明圏に対立する中華文明圏 (中国・韓国・北朝鮮) の反日戦略の起源・戦術・展開について概説し、東アジアがそれぞれ時代を異にする「異時代国家群」から成ることを認識する。 1) 東アジア共通文化論の虚構 「興亜論」「大東亜共栄圏」「東亜協同体」「東アジア文化圏」「東アジア共同体」と形を変えて繰り返される東アジア共通文化論が虚構であり、東アジアを包摂しうる文化要素が存在しないことを証明する。 2) アジア主義 侵略という名の連帯・共同の家という連帯・孤立化を恐れる連帯 歴史上、アジア主義者は右翼にも左翼にも現れる。その共通点は、「反米」である。 アメリカニズムに対する反発から、アジア主義者たちは東アジア諸国との連帯を模索する。反米に固執する彼らの行動を、アジア主義という観点から別決する。 3) 日本文明圏の覚醒 地理上の東アジアにおいて、日本は独自の日本文明圏を確立している。われわれが東アジア諸国とは異なる文明圏に居住し、日本文明の様々な文化端末にアクセスしながら生活していることを認識する。 教科書: 古田博司『日本文明圏の覚醒』(筑摩書房)、古田博司『東アジア「反日」トライアングル』(文春新書) 参考文献: 古田博司『東アジアの思想風景』(岩波書店、1999年度サントリー学芸賞受賞作)、古田博司『東アジア・イデオロギーを超えて』(新書館、2004年度読売・吉野作造賞受賞作)			
単位取得要件	出欠点と期末試験 出欠は全体で五回ほど取り、重視する。		
備考	国際 (BC11 641) と共通		

授業科目	欧米政治外交史 (Western Political and Diplomatic History I)		
担当教員	松岡完	研究室	人社棟A403
単位数	2単位	オフィスアワー	13:00-13:30
学期曜時限	3学期 金2・3時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 (1) 現代の国際政治を理解するうえで重要な意味を持つベトナム戦争について学ぶ。(2) これを手がかりに、冷戦、地域紛争、地域統合、現代アメリカ外交、民族主義、現代戦争など、国際政治のさまざまな側面について考察を深める。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 1. ベトナム戦争の概要 2. ミソ冷戦の戦場 3. 民族解放戦線と北ベトナムの対立 4. 中国と北ベトナムの対立 5. アメリカと南ベトナムの対立 6. 東南アジア地域統合の契機 7. アメリカの世論と政府の戦い 8. 負の記憶とアメリカ国民の格闘 教科書は松岡完『ベトナム戦争』(中公新書 2001)			
単位取得要件	学期末試験もしくはレポート、および平常(出席)点		
備考	国際 (BC11 661) と共通。原則として「政治外交史」既修者を対象とする。昼休みをはさまず、3限を2限に続けて行う予定。		

BB31 401

授業科目	現代政治外交 (Contemporary Politics and Diplomacy I)		
担当教員	竹中佳彦	研究室	人社B410
単位数	2単位	オフィスアワー	原則として学期中の木曜3時限
学期曜時限	2・3学期 木4時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 【授業目標】現代日本をめぐる政治・外交を理解するための歴史と理論・分析視角の修得。 【授業概要】1940年代から70年代の日本を取り巻く外交・防衛について概説し、現在、日本が置かれている政治・外交上の諸問題について考えるための材料を提供したいと思います。 【学生への要望】予習・復習を行って下さい。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 【授業予定】受講生の理解度等によって進度と内容が変わりうることをあらかじめご了承下さい。 第1回 開講の辞(ガイダンス) 第2回～第5回 国連・憲法と安全保障 第6回～第8回 敗戦・占領・憲法制定 第9回～第11回 占領政策の転換と講和・安保 第12回～第13回 「吉田ドクトリン」と1950年代の政治・外交 第14回～第15回 安保改定 第16回～第17回 池田・佐藤政権期の政治・外交 第18回～第20回 大綱とガイドライン 【使用教科書・参考文献】教科書はとくに指定しません。当日の授業出席者のみにレジュメを配付する予定です。 予習・復習のための参考文献として、 松岡完他編『冷戦史』同文館、2003年、 進藤・水戸編『戦後日本政治と平和外交』法律文化社、2007年。 その他の参考文献は適宜、指示します。			
単位取得要件	原則として試験により評価します(試験に合格しなければ、どのような事情があれ、単位は与えません)。甚だしく出席が少ない場合には出席をとり、評価に加味することがあります。また私語や遅刻、途中退室など、授業態度が悪い等の場合には、単位を与えないことを含め、評価に反映させることがあります。		
備考			

BB31 451

授業科目	アジアの国際関係 (International Relationship in Asia)		
担当教員	首藤もと子	研究室	K - 418
単位数	2単位	オフィスアワー	随時。メールにて事前に予約
学期曜時限	1学期 月5・6時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 アジアにおけるナショナリズムと地域主義の変遷、現在の越境的社会変容について、分析の枠組みを提示し、政策課題について検討します。授業の主な目標は次の3点です。 アジアにおける「冷戦」の構造的特徴について説明できる。 冷戦後のアジアの国際関係の特徴について説明できる。 ASEANをハブとする東アジアの地域主義の特徴と課題について説明できる。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 (1) アジアのナショナリズムと国家形成の課題 (2) アジアにおけるナショナリズムと地域主義の展開 冷戦期のアジアの地域主義、東アジアと南アジアの国際構造の相違 (3) グローバル化時代における重層的な地域主義の機能と制度 (4) ASEANとハブとするアジアの外交の多様化 ASEAN Regional Forum (ARF) にみるアジアの多国間安全保障レジームの評価 (5) 「ASEAN + 3」と「東アジア共同体」をめぐる日本と中国の外交 (6) ASEAN安全保障共同体と紛争解決の課題 (7) ASEAN経済共同体と域外諸国・地域とのFTA/EPA交渉の課題 (8) ASEAN社会文化共同体と国境を越えた問題への対応 (9) 人の国際移動に関する地域的ガバナンスの課題 (10) アジアにおける越境的な市民社会の可能性と課題 授業では毎回レジュメを配布しますが、それと別に、以下の文献も参考書として使用します。Donald K. Emerson ed., <i>Hard Choices, Security, Democracy and Regionalism in Southeast Asia</i> , Singapore: Institute of Southeast Asian Studies, 2009. 高原明生他編『現代アジア研究 第1巻 越境』慶應大学出版会、2008年。片山裕・大西裕編『アジアの政治経済・入門』有斐閣ブックス、2007年。谷口誠『東アジア共同体』岩波新書、2004年、780円。その他、授業において参考文献等を紹介いたします。			
単位取得要件			
備考	国際 (BC11 221) と共通		

BB31 461

授業科目	アジア政治 (Politics in Asia)		
担当教員	首藤 もと子	研究室	K - 418
単位数	2単位	オフィスアワー	随時。メールにて事前に予約
学期曜時限	2学期 月5・6時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 この授業では、東南・南アジアの政党制度と選挙制度、軍・官僚機構の機能の変遷、経済政策とガバナンスの課題について、比較考察します。授業の主な目標は次の3つです。アジアの複数の統治機構について、各々固有の特徴を説明できる。アジア政治を比較するうえで、普遍的な視点を説明できる。グローバル化時代におけるアジア政治の課題について説明できる。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 (1) アジア政治を考える視点 (2) 国家形成と軍の政治的機能---インドネシア、ミャンマー、パキスタンの事例 (3) アジア諸国の統治機構 1. 民主的政治制度と寡占的エリート支配: フィリピンの民主主義体制の理念と現実 2. 議会制民主制度と覇権的与党連合体制: マレーシアの政治制度と経済開発戦略 3. グローバル化時代の国家管理体制: シンガポールのPAP 4. 多様性と民主的制度の調和の模索: インドネシア 5. 民主化と保守的権力エリート層の対峙: タイ 6. インドの政党政治の変容: 民主的制度と社会構造 (4) グローバル化時代におけるアジア政治の課題 1. アジア政治における市民社会 2. 腐敗とガバナンスの課題 ***** 授業では毎回レジュメを配布しますが、それと別に参考書については、授業で随時紹介します。なお、以下のものは、参考書として利用します。岩崎育夫『アジア政治とは何か』中公叢書、中央公論新社、2009年。片山裕・大西裕編『アジアの政治経済・入門』有斐閣ブックス、2007年。谷口誠『東アジア共同体』岩波新書、2004年、780円。その他、授業において、随時関連論文、資料等を紹介いたします。			
単位取得要件			
備考	国際 (BC11 021) と共通		

BB31 491

授業科目	計量分析入門 (Introduction to Quantitative Analysis)		
担当教員	崔 宰 栄	研究室	共研A311、(内)6044、 choe@social.tsukuba.ac.jp
単位数	2単位	オフィスアワー	メールにて問い合わせ要
学期曜時限	3学期 月3・木2時限	授業対象学生	2～4年次
授業の目標と概要・学生への要望 計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、社会科学等の多くの分野で用いる分析ツールの1つである。この授業では、そのツールを正しく使うための基礎統計や使い方の理解を目標とする。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 授業目標: 計量分析に必要なとする基礎統計とその分析ツールの理解 授業内容: 第1回 計量分析の概要 第2回・第3回 度数分布表・図 第4回 代表値(平均など) 第5回 散布度(偏差、標準偏差、分散など) 第6回・第7回 相関分析 第8回・第9回 回帰分析 第10回 SPSSの使い方 授業では、統計の基本概念などの理解と、分析ツール(主にエクセルを使用、SPSS)を用いた演習を行なう。 使用教科書: オリジナルテキスト。			
単位取得要件	出席、試験(もしくはレポート)により総合評価する。 但し、出席回数3分の2以下の場合、単位取得資格外となる。		
備考			

BB31 112

授業科目	政治学外書講読(英語) (Political Science Reading in Foreign Language Texts (English))		
担当教員	松岡 完 崔 宰栄	研究室	人社棟A403(松岡) 共研A311(崔)
単位数	2単位	オフィスアワー	11:30-12:00(松岡) 予約により随時(崔)
学期曜時限	1・2学期 月5時限	授業対象学生	2・3年次
授業の目標と概要・学生への要望 政治学に関する英語文献を購読し、専門的な英語文献を自力で読みこなす能力を養う。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 各学期テキストを指定し、受講者による和訳、要約、内容に関する討論を中心とした授業を行う。 受講者は各自十分な予習をして授業に臨むこと。テキストや授業の進め方の詳細については、開講時に指示する。			
単位取得要件	授業中の報告、レポートあるいは学期末試験等で総合的に評価する。		
備考	社会学類の学生の受講を優先する。		

BB31 122

授業科目	政治学入門演習 (Introductory Seminar of Politics)		
担当教員	古田 博司 近藤 康史 鈴木 創	研究室	3K422(古田) 人社棟B412(近藤) 人社棟B408(鈴木)
単位数	3単位	オフィスアワー	furuta@social.tsukuba.ne.jpに連絡(古田) 火曜14:00-16:00(近藤) 予約により随時(鈴木)
学期曜時限	1～3学期 水6時限	授業対象学生	2年次
授業の目標と概要・学生への要望 【授業目標】 政治学における基礎的な概念・方法・知識の修得。 【授業概要】 政治学の基礎概念について、2年生を対象として、政治学研究への入門的指導を三期に分けて行う。 【学生への要望】 授業での報告・討論への積極的な参加と授業外の予習・復習を求める。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 【授業予定】 第1回 ガイダンス、第2～10回 各自の報告と討論 第11回 ガイダンス、第12～20回 各自の報告と討論 第21回 ガイダンス、第22～30回 各自の報告と討論 テキスト等については学期当初に担当教員が指示する。予習・復習についても各学期の担当教員の指示に従うこと。			
単位取得要件	授業への出席状況および各担当教員の総合評価。		
備考	社会学類の学生の受講を優先する。		

BB31 132

授業科目	政治学演習 (Seminar on Political Science I)		
担当教員	辻 中 豊	研究室	共同研究棟A306
単位数	3単位	オフィスアワー	月、金 夕方5-7時
学期曜時限	1~3学期 木6時限	授業対象学生	3・4年次(1,2年次も可能)
授業の目標と概要・学生への要望 現代政治を分析するために、問題意識、文献の体系的レビュー、データ収集・分析から研究計画、仮説設定・検証まで経験的な分析方法を踏まえて、3年次レビュー論文、4年次卒業論文を執筆するための論文指導をおこなう。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 目標:現代政治学や社会科学の問題意識や基礎知識・技能の共有化を図りつつ、各自が自己の問題意識に基づきながら、現代政治・社会に関する創発的・原著的研究を行う。 3年生:自分の問題意識に沿った体系的な学習と研究。ゼミ:基礎的な研究、研究文献の体系的レビュー。基礎的なデータ収集と分析。研究論文・2次資料中心での独立論文。課題研究。1学期:4,5月:共通の問題意識・方法論研究。この間、Office Hourを利用した問題意識文章化。6月:Proposal発表。夏休み:日本と世界の文献の体系的収集とレビュー。9月第一週合宿:A4ワープロで10ページ成果報告。2学期:現代世界研究の共通図書研究と自己研究の発表。11月以降、独立論文執筆。3学期:卒業研究に向けた準備。11月OBOG会。 4年生:前半:将来の進路、職業選択の体系的検討、就職活動。受験準備。後半(7,8月以降):原著的で実証的な卒業研究。11月中間発表。12月完成。 義務:研究(自分)ノートの作成。 今年のゼミは、社会科学の方法論も1学期にしっかり修得してもらいたいと思います。研究者やジャーナリスト、政治家、NGO・NPOの活動家の志望者にも向いているゼミだと思います。			
単位取得要件	課題提出、成果報告、ゼミ論文提出		
備考	ゼミは多元性が必要です。学年を問わず他学類・他専攻を含め多様な学生を歓迎します。		

BB31 162

授業科目	比較政治学演習 (Seminar on Comparative Politics II)		
担当教員	鈴木 創	研究室	人社棟B408
単位数	3単位	オフィスアワー	予約により随時
学期曜時限	1~3学期 火4時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 日本や諸外国における選挙と政策形成に関する文献を講読し、比較の視点も交えながら各国の政治を考察する。各回の報告者はもちろん、それ以外の者も積極的に討論に参加することを期待する。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 共通の文献を読み、毎回報告者を決めて報告、質疑、討論を行う。受講者全員が文献の内容を理解するだけでなく、それに対するコメントを用意してゼミに臨むこと。 また、各自の自由な関心に基づいてテーマを設定し、文献報告・研究報告を定期的に行う。最終的にゼミ論文を執筆する(3年生はレビュー論文、4年生は研究論文)。 使用する文献は、開講時に指示する。			
単位取得要件	出席、報告、討論への参加、ゼミ論文などで総合的に評価する。		
備考			

BB31 182

授業科目	国際政治学演習 (Seminar on International Politics II)		
担当教員	南山 淳	研究室	人社棟B409
単位数	3単位	オフィスアワー	随時(メールで要予約)
学期曜時限	1～3学期 月6時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 国際紛争の具体的な事例と関連づけながら現代国際政治の諸問題について検討する。無断欠席厳禁。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 「社会科学」としての国際政治学に必要な思考訓練を徹底して行い、現代国際政治分析に不可欠なスキルの修得を目標とする。例年、テキスト輪読、学生による研究報告と討論、他大学との合同ゼミ(学生によるディベート)等を実施しているが、具体的な内容については受講者と相談のうえで決定する。3年次は、各自研究テーマを決定し、卒業論文(またはゼミ論文)の構成目次および概要(4000字程度)の提出、卒業年次は同論文の完成稿提出を各年度の単位取得要件として研究指導を行う。現代国際紛争および国際政治研究に関心があり、かつ意欲のある者であれば、学類・主専攻は問わない。【参考書】吉川直人・野口和彦 編『国際関係理論』(勁草書房); M.カルドー『新戦争論』(岩波書店); J. Baylis, S. Smith & P. Owens, eds., <i>The Globalization of World Politics</i> , 4th. ed., Oxford U.P., 2008; 高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書); 茂木秀昭『ザ・ディベート』(ちくま新書); 戸田山和久『論文の教室』(NHKブックス)			
単位取得要件	出席状況、ゼミにおける発言・報告内容、卒業論文またはゼミ論文(3年次は論文概要)等による総合評価		
備考	E-mail: minami@social.tsukuba.ac.jp		

BB31 192

授業科目	現代政治外交演習 (Seminar on Contemporary Politics and Diplomacy I)		
担当教員	竹中 佳彦	研究室	人社B410
単位数	3単位	オフィスアワー	原則として学期中の木曜3時限
学期曜時限	1～3学期 木5時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 【授業目標】輪読に基づく討論を通じて、日本の政治・外交、または政治学について研究するとともに、ゼミ論文もしくは卒業論文を完成させること。 【授業概要】現代日本の政治、あるいは外交に関する文献を輪読するとともに、ゼミ論文(註・参考文献つき、400字詰原稿用紙換算20枚以上)を完成させることを目指します。 【学生への要望】ゼミ論文は、400字×20枚以上、註・参考文献リストつき、ワープロソフトで40字×30行/頁とし、フロッピーディスク及びアウトプットを提出してもらいます。テーマは、日本の政治・外交・政治史・政治思想、比較政治、政治学に関するものから、各自の関心によって選択してかまいません。ただし何度でも書き直しをお願いすることがありますので、それに耐えられるだけの忍耐力が必要です。卒業論文はゼミ論文以上の内容・分量等を要求します。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 【授業予定】 第1回 ガイダンス、輪読する書物の決定 第2回 割り当て、報告の仕方 第3回 論文の書き方 第4回 資料収集の方法 第5回～ 輪読(報告と討論) 9月初め ゼミ論テーマ調査(6月に用紙配付) 11月末までに、ゼミ論の第1稿を提出してもらいます。 12月～1月は、ゼミ論の中間報告をしてもらうことがあります。 2月末(4年次生は1月末)までに、最終稿を提出してもらいます。 【使用教科書】受講者と相談のうえ決定します。			
単位取得要件	ゼミ論、出席、日常の報告の内容、討論への参加度を総合的に評価します。ゼミ論を提出しない場合は、単位を与えません。無断欠席を3回した場合には履修放棄したものとみなします。報告が悪い場合には何度でも報告をしてもらいます。		
備考	エントリーシートを提出し、受講許可を得た者のみ履修できます。		

BB31 222

授業科目	行政学演習 (Seminar on Administrative Analysis II)		
担当教員	伊藤 修一郎	研究室	人社B407
単位数	3単位	オフィスアワー	月5
学期曜時限	1～3学期 月6時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 政府および地方自治体の政策・制度・組織に関する調査・研究を行うための理論と技法を学ぶ。4年次に卒業論文を書くことを勧めるが、必須ではない。自分で興味をもったテーマについて調べてみようという意欲のある学生を歓迎する。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 授業目標実現のために必要な研究手法や基礎理論を学ぶ。テーマの選定方法から、研究計画のたてかた、論文の書き方(論文指導)とプレゼンテーションの方法まで一通りを学び、それを実際にやってみることで、習得します。夏以降は、実地に学ぶ場として、つくば市周辺の自治体の政策や組織について調査を行い報告をしていく方式を採ることを検討しています。これによって文献研究の時間が減る可能性があるため、本・論文の講読と討論を中心に活動するゼミとの掛け持ちも歓迎します。			
単位取得要件	討論への貢献及び卒論(ゼミ論)の執筆		
備考	他主専攻、他学類からの参加も可		

BB31 242

授業科目	東洋政治思想演習 (East Asian Political Thought Seminar II)		
担当教員	古田 博司	研究室	3K422
単位数	3単位	オフィスアワー	furuta@social.tsukuba.ac.jpに適宜連絡のこと
学期曜時限	1～3学期 火5時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 文章指導を頻繁に行う。文章で身を立たい者、マスコミ志望者、研究系オタクなど歓迎。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 1、本は輪読しません。レジュメは書かせません。 2、時宜にあったレアな話をします。 古田が新聞や雑誌に書いた文章を読み上げたりもします。 3、諸君の就活を積極的に支援します。 とくにマスコミ志望の人には良いゼミです。たくさんの方が入りました。 4、文章修業をします。課題を出して作文させ、古田が添削します。 例えば今までに出した題;「雨について書け」「ポストモダンに道徳は必要か」「擬似科学について書け」「ポストモダンに適した授業科目を考案せよ」「老人政治を終わらせるにはどうしたらよいか」「恩師に結婚式のスピーチを依頼する手紙を書け」「食品の安全性を確保できなかった場合で、食品会社担当社員になりきったつもりで客に詫言を書け」など。 良い文章を書くには明確にテクニックが要ります。 1) 起承転結文で長く書くテクニック 2) 日本語の特徴を生かす方法 日本語は格言語でもないし、テンス言語でもない。「私は」などを多用すれば日本語にならないし、過去だからといって文末を全部過去形にすればヘンな日本語になります。日本語に合わせた文章の修業が必要です。 3) 文章の様々な形式 エッセイ・論文・本、その他様々な形式に合わせて文体を変えなければなりません。 4) 読者のことを考えて書くテクニック 哲学者のオルテガが『大衆の反逆』(1930)の中で言っています。「普通の読者がたとえ彼の著作を読むにしても、それは彼から何かを学ぼうとするために読むのではなく、その反対に、その読者が頭につめこんでいる凡俗な知識とくち違ふことを見つけたら、著者を断罪しようとして読むのである」。気をつけましょう。 教材等 教材は別にありません。			
単位取得要件	提出物のみで評価		
備考			

BB31 262

授業科目	欧米政治外交史演習 (Seminar on Western Political and Diplomatic History II)		
担当教員	松岡 完	研究室	人社棟A403
単位数	3単位	オフィスアワー	1・2学期11:30-12:00 3学期13:00-13:30
学期曜時限	1～3学期 金4時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 (1)アメリカを中心に、冷戦期などの政治外交史を学ぶ。(2)口頭での報告、質疑、討論、レジュメの作成、ゼミ論文執筆などをつづじて、一定の問題について疑問を抱き、それについて自分なりに調べ、その要点をまとめ、考えを発表する訓練を行う。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 テキストの輪読や各自の研究発表などを行う。詳細は4月の顔合わせで決める。			
単位取得要件	ゼミ論文、出席点、平常点		
備考	第1回授業に必ず出席すること		

BB31 282

授業科目	現代政治分析演習 (Seminar in Contemporary Political Analysis II)		
担当教員	近藤 康史 (Yasushi KONDO)	研究室	人社B412
単位数	3単位	オフィスアワー	火曜14:00～16:00(3学期のみ14:30～)
学期曜時限	1～3学期 火6時限	授業対象学生	3・4年次
授業の目標と概要・学生への要望 毎回1名による文献報告あるいは研究報告を通じ、現代政治上の様々な論点について分析・議論し、幅広い政治学的知識や思考、視角を獲得する。その上で、自分の関心あるテーマに対し、複眼的・多角的にアプローチできる力の修得を目指す。 各自が選んだテーマに関し、自分なりの視角から研究する。4年生はゼミ論文あるいは卒論を執筆する。			
授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等 <1学期> 現代政治や政治理論上の諸テーマについて、何冊かの文献を読み、議論する。扱う文献は参加者の関心を聞いた上で選択するが、現代政治上の論点を扱いつつ、政治理論や方法についても議論できるものを中心としたい。3年生は、これらの過程で政治学文献の読み方やレジュメのまとめ方を学ぶとともに、今後の研究に向けて、各自の関心を絞っていくことも目標となる。 <2学期> 自らの研究テーマに関する発表を行う。3年生は、自らの関心にしがたって選択した文献の報告を行い、関心の明確化を図る。4年生はゼミ論文・卒論へと向けた研究発表をする。両学年とも、これらを通じて「プレゼンテーション力」を磨くことも目標となる。 <3学期> 12月・1月は、各種の政治学の「論文」を輪読することで、「政治学の論文の書き方」を学び、議論する。2月は、4年生が提出した卒論・ゼミ論文の発表を行う。 ・参加者には、テキスト(週に新書半分ないし論文1本程度)を読んでもらうことが求められるとともに、自らの状況に応じて、各自の関心に従ってその他の政治学文献を読むこと、新聞等を通じて現在の政治状況に関心を払うことが要求される。 ・他のゼミとのかけもちも歓迎する(その場合、ゼミ論等については配慮する)。また、やる気と関心さえあれば、他専攻や他学類の学生も受け入れている。			
単位取得要件	出席、報告、議論、提出物など、ゼミでのパフォーマンスで総合的に判断		
備考	http://member.social.tsukuba.ac.jp/kondo/		

BB31 292

授業科目	憲法演習 (Seminar on Constitutional Law I)		
担当教員	土屋 英雄 (TUCHIYA, Hideo)	研究室	人社B403
単位数	3単位	オフィスアワー	授業当日
学期曜時限	1～3学期 火6時限	授業対象学生	3・4年次
<p>【授業の目標と概要・学生への要望】 メディア関係の事件の判例の読み方の訓練 (受講希望者は面接を4月9日(木)午後2時～6時に研究室にて行う)</p>			
<p>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 別冊ジュリスト『メディア判例百選』(2005年、有斐閣) 学生の報告と討論を中心として授業を進める。</p>			
単位取得要件	授業出席とレポート評価		
備考	法学 (BB21 112) と共通		